

【資料 1】

R02.06.30（火）地域医療構想の推進
に係る打合せ（県・保健所）資料抜粋

地域医療構想の再検証等に係る 今後の進め方について

具体的対応方針の再検証の要請について

＜国の動き＞

- 「経済財政運営と改革の基本方針2019」（「骨太の方針2019」令和元年6月21日閣議決定）を受け、厚生労働省は「診療実績が特に少ない」または「類似かつ近接している」公立・公的医療機関等を再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等（再検証対象医療機関）と位置付け、分析を実施。
- 令和元年9月26日開催の「地域医療構想ワーキンググループ」において、再検証対象医療機関に該当する医療機関（全国424病院）を公表。本県では4医療機関が該当。
 - ・ 東部圏域（1病院）：岩美病院
 - ・ 西部圏域（3病院）：西伯病院、日南病院、境港総合病院
- 令和2年1月17日に発出された「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について（厚生労働省医政局通知）」において、再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等に対し、都道府県が具体的対応方針の再検討を要請し、結果について報告を行うこととされた。

＜県の取組み＞

- 令和2年3月26日に、地域医療構想の再検証等を含めた今後の進め方についての打ち合わせを行い、保健所において各病院との意見交換を進めていただくようお願いしていたところ。

⇒ 新型コロナウイルス感染症に係る対応のため作業が保留状態となっている。

国が示す再検証の内容・期限等

<再検証の内容>

- ① 2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割
- ② 2025年に持つべき医療機能別（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の病床数
- 具体的対応方針の再検証の要請を受けた際には、再編統合について特に議論が必要な公立・公的医療機関等は、構想区域内の他の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえて、協議し、**遅くとも2020年9月末までに結論を得る。**
- 一部の領域において「診療実績が特に少ない」、「類似かつ近接」と分析された公立・公的医療機関等は再検証の対象ではないが、これらの「診療実績が特に少ない」、「類似かつ近接」と分析された領域について、地域の実情に応じて、具体的対応方針の見直しの必要性を検討するよう求める。

<再検証の期限等>

令和2年

3月4日 厚生労働省が再検証の期限を延期する通知を发出

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3月末としていた見直し報告期限を再整理することとされた。（事実上の期限撤回）

6月4日 加藤厚生労働大臣が再検証に係る検討について発言

新型コロナウイルス感染症の状況を見据えて、時期、進め方について改めて整理したいと発言された。（検討先送り容認）

⇒ 令和2年9月までの結論取りまとめの先送り（国からの新たな通知なし）

具体的対応方針の再検証等の議論について

＜各保健所へお願いしたい点＞

緊急事態宣言が全国で解除となり、本県においては、現状、新たな感染者が出ておらず、収束状況にあります。新型コロナウイルス感染症の第2波に備え、引き続き対応を検討中とは思いますが、

- ① 今後、いつ第2波の対応に追われるかわからないことから、**今のこの期間を利用して、各保健所において地域医療構想における再検証等の議論を可能な範囲で進めていただくようお願いします。**
- ② 今後の進め方としては、まず、**公立・公的病院を優先（特に再検証の対象医療機関となっている4病院※¹及び未報告医療機関の1病院※²）して進めていただくようお願いします。**
- ③ 当初スケジュールをベースとして、**9月を目途に再検証等の検討結果の整理を目指して進めていただくようお願いします。**

⇒ 5病院を含む公的・公立病院を優先するが、残りの病院についても可能な限り9月までに検討を進めていただきたい。

※1：岩美病院、日南病院、西伯病院、境港総合病院

※2：鳥取市立病院

⇒ スケジュールについては、新型コロナウイルス感染症の状況により適宜調整を行います。

地域医療構想の再検証等に係る今後の進め方

(1) 国提供分析データや本県独自分析データを県内の各病院にフィードバック ＜提示データ＞

①国分析と京大レセプト分析との対比

②公表の元となったデータ（病床機能報告）を基に病院ごとに分析した詳細バージョン

※県から保健所へ提供済

(2) 各保健所において個別に県内病院を訪問し、意見交換を実施

＜意見交換の内容（イメージ）＞

○国が求めている再検証の内容（必須）

・2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割

・2025年に持つべき医療機能別（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の病床数

○新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策における医療機関の役割・医療提供体制

⇒ コロナ対策（第2波対応）とあわせて各圏域で医療機関の役割等を整理

※再編統合（病床削減等）を前提に見直しを行うものではありません。

※圏域における各病院が担うべき役割を再確認し、機能転換等を行う場合はその理由を整理。

※見直しの結果、変更なし（現状維持）の場合は、その理由を整理。

(3) 各病院で2025年の医療機能の在り方等を検討

(4) 各圏域の地域医療構想調整会議で検討

・必要に応じて圏域毎に非公開の検討部会(病院関係者等で構成を想定)を設置して意見交換の実施

・部会での検討を踏まえ、地域医療構想調整会議に報告、了承を得る（内容は各市町村と共有）

(5) 令和2年9月頃を目処に各圏域で再検証結果について合意

今後のスケジュール

日 程	内 容
R 2 年 7～8月	<ul style="list-style-type: none"> ・各病院（5病院優先）を訪問して意見交換の実施 ・各病院において将来の医療機能等を検討 ※必要に応じて各圏域地域医療構想調整会議の下部組織で検討 ⇒ 各市町村及び各圏域の地域医療構想調整会議に適宜報告
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村及び各圏域の地域医療構想調整会議へ各圏域の検討結果の報告、意見聴取
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・医療審議会、地域医療対策協議会で各圏域の検討結果の報告
（意見交換未実施等の病院がある場合）	
11月～ 令和3年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・残りの病院を訪問して意見交換の実施 ・各病院において将来の医療機能等を検討 ・各圏域地域医療構想調整会議の下部組織（仮）で検討 ⇒ 各市町村及び各圏域の地域医療構想調整会議に適宜報告
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村及び各圏域の地域医療構想調整会議へ各圏域の検討結果の報告、意見聴取
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・医療審議会、地域医療対策協議会で各圏域の検討結果の報告

⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる恐れがあります。